

平成26年度 ポリナビワークショップ in 栃木 開催報告

平成26年5月12日(月) コンセーレ大ホール



■和気藹々ながら真剣なグループワーク 「看護師不足」は国家的な問題だ



青年部実行委員
道上 実紀

平成26年5月12日に、5回目となる「ポリナビワークショップin栃木」を開催しました。県内より約150名の若手看護師が参加し、講演、グループワークを行いました。

今回は、石田まさひろ参議院議員秘書の平間佳明氏を講師にお招きし「看護と政治について～若手看護師に伝えたいこと～」というテーマで講演していただきました。議員や秘書の活動、診療報酬や看護師の特定行為など、今後の国の保健医療福祉の方向性について

お話をいただき、参加者は真剣に聞き入っていました。

グループワークは「なぜ、看護師不足が解消されないのか」というテーマで行いました。

栃木県看護連盟青年部では、若手看護師に興味を持ってワークショップや研修会に参加してもらえるよう、また看護連盟の活動を理解してもらえるよう、企画運営を行っていきたいと考えています。



■講師の平間氏と関係スタッフ



■講演風景



■参加者記念撮影 また会おうね

ポリナビワークショップって？

■ポリナビとは

ポリナビとは、「Politic Navigators' Network」の略です。20歳代連盟会員による集まりで、若手が自分達にもできることを探し、政治・政策の観点から現在の保健医療福祉を変えていこうという取り組みの事を言います。2007年に、現在の石田まさひろ参議院議員の提案により発足し、その後各県看護連盟で拡大しています。

■ワークショップの目的は

ワークショップとは、本来「作業場」や「工房」を意味しますが、参加者が経験や作業を披露したりディスカッションをしながら、スキルを伸ばす場の意味を持つようになっています。ポリナビワークショップは全国の若手看護職とのネットワークを作るために活動しています。ネットワークを通して、一人でも多くの若手看護師が身近なところから医療・看護を取り巻く問題に向き合い、医療政策の原動力になって行くのが目的と言えましょう。

■現在は…

以前に日本看護協会が行った調査では、30歳以下の若手看護師で医療政策について、関心があるのは10%程度とされていました。医療政策について関心はあるが学ぶ時間がない。難しい・語り合う仲間がないなどの問題点があります。ポリナビワークショップはその打開策として地域を超えたネットワーク作りを行っています。

■どんな事をするか

現在、講演とグループワークが主体になった活動をしています。まずは「参加すること」そして「行動するために学ぶこと」が大切です。

ところで、居酒屋で研修をする「いざポリ」なんていふイキなことをしている看護連盟の話もありますから、当面「仲間作り」から始めてみてはいかがでしょうか。